

addCad 更新プログラム 2024 で新たに追加されたコマンド

addS_DIMAUTOARRANGE [寸法値位置自動調整]

複数の寸法(長さ、平行、角度、3点角度、弧長)を選択して寸法値を「上」「下」「上下」に移動します。

アクセス方法

ボタン: 

リボン: [寸法]→[寸法編集]→[寸法値移動]ドロップダウン

解説:

選択した寸法の寸法値座標を昇順で並び替え、交互に指定した位置(上・下・上下)へ寸法値を移動します。

「角度寸法」「3点角度寸法」は寸法値の位置や作図手順などにより寸法値位置の判定が正しくできないことがあります。

コマンド入力: `ADDS_DIMAUTOARRANGE`

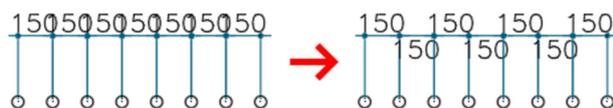
寸法を選択: もう一方のコーナーを指定: 認識された数: 7

寸法を選択:

移動位置 [上(U)/下(D)/上下(B)]: D

手順:

1. [寸法値位置自動調整] ボタンをクリックします。
2. 寸法(長さ、平行、角度、3点角度)を選択します。
3. 移動位置を指定します。



addS_ATTSET [属性一括編集(指定)]

[モデル][レイアウト]タブに挿入されたブロックの属性値をまとめて変更できます。

アクセス方法

ボタン: 

リボン: [挿入]→[属性]パネル

解説:

[モデル]タブに挿入された建具記号の番号や[レイアウト]タブに挿入された図面枠の作成日など、ブロック名、属性名を指定して属性値をまとめて変更します。

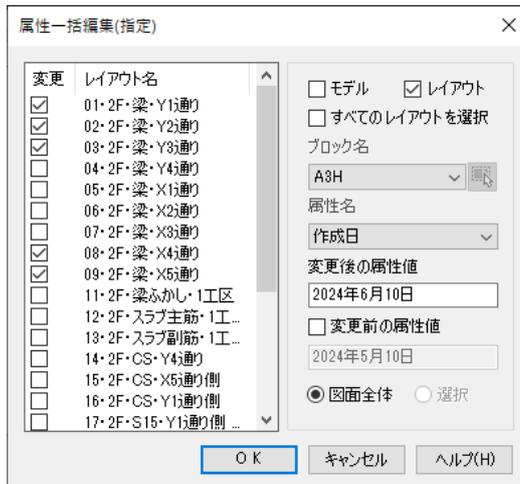
あらかじめブロック名、属性名を確認してからコマンドを実行してください。

コマンド入力: addS_ATTSET

3 個の 'A3H' ブロック - '作成日' の値を '2024 年 6 月 10 日' に変更しました

手順:

1. [属性一括編集(指定)] ボタンをクリックします。
2. ブロック名、属性名、変換後の属性値などを指定します。
3. [OK]ボタンをクリックします。



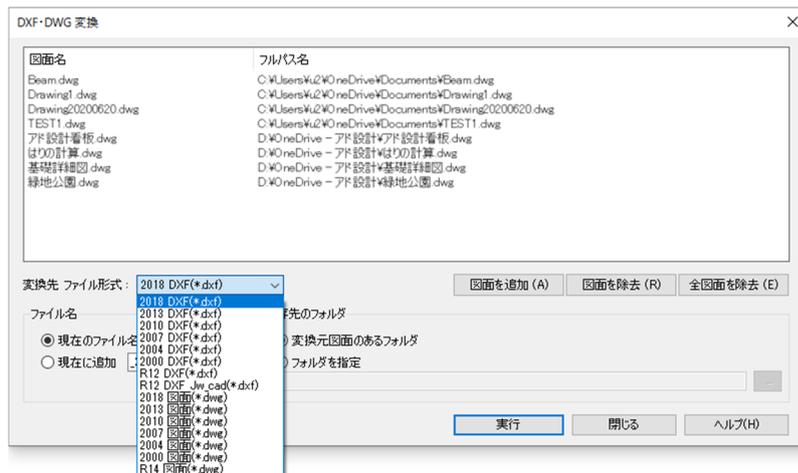
| 名称 | 説明 |
|--------------|-------------------------------|
| モデル・レイアウト | リストに表示するタイプ(モデル・レイアウト)を指定します。 |
| すべてのレイアウトを選択 | リストに表示されたすべてのレイアウトの選択を切り替えます。 |
| ブロック名 | 属性値を変更するブロック名を指定します。 |
| 属性名 | 属性名を指定します。 |
| 変更後の属性値 | 変換後の属性値を指定します。 |
| 変換前の属性値 | チェックを入れいると指定した属性値のみ値を変更できます。 |
| 図面全体・選択 | 選択は[モデル]タブのみで使用できます。 |

addS_addTool [連続 DXF・DWG 変換]

「DXF 変換」に加え、DXF ファイルをまとめて DWG(図面)ファイルに変換できます。

解説:

DWG→DXF または DXF→DWG 変換、DXF・DWG のバージョン変換もできます。



addS_REPBLK[ブロックを置換(一括)]

「属性値を継承」「パラメータを継承」チェックボックスと「元のブロック名」「新しいブロック名」を図面上で指示するボタンを追加しました。

解説:

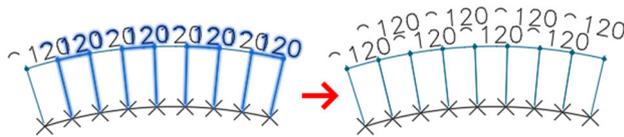
あらかじめ属性、パラメータ名を確認してからコマンドを実行してください。



addS_DIMDW[寸法値位置下へ]

addS_DIMUP[寸法値位置上へ]

「長さ寸法」に加え「平行寸法」「角度寸法」「3点角度寸法」「弧長寸法」の寸法値を上下に移動できます。



addS_DIMLF[寸法値位置左へ]

addS_DIMRG[寸法値位置右へ]

addS_DIMDWRG[寸法値位置右下へ]

addS_DIMUPRG[寸法値位置右上へ]

addS_DIMDWLF[寸法値位置左下へ]

addS_DIMUPLF[寸法値位置左上へ]

「長さ寸法」に加え「平行寸法」の寸法値を左右上下に移動できます。

解説:

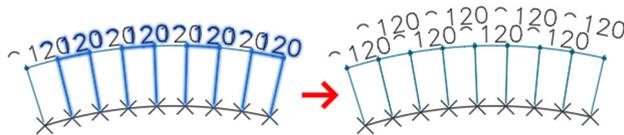
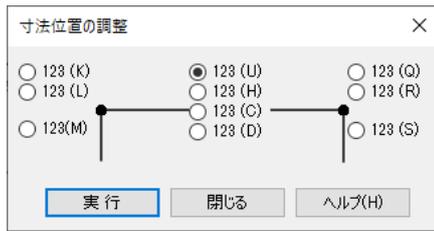
「角度寸法」「3点角度寸法」「弧長寸法」には対応していません。

addS_DIM_ARRANGE[寸法値位置の調整]

「長さ寸法」に加え「平行寸法」「角度寸法」「3点角度寸法」「弧長寸法」の寸法値位置を調整できます。

解説:

「角度寸法」「3点角度寸法」「弧長寸法」は上(U)・標準(H)・中央(C)・下(D)の移動のみ可能です、左右の移動に対応していません。



adds_COPYRT [複写回転]

adds_MOVERT [移動回転]

回転角度の指定時に「参照(R)」オプションが追加されました。

解説:

「回転角度を指定」する前に「参照(R)」オプションを実行します。

コマンド入力: addS_MOVERT

オブジェクトを選択: 認識された数: 1

基点を指定:

目的点を指定:

回転角度を指定 または [コピー(C)/参照(R)] <240.0>: R

参照する角度 <100.0>: 2 点目を指定:

新しい角度を指定 または [点を指定(P)] <66.0>:

addS_SYMBOLSLOPE1 [勾配作図 1]

過去の更新プログラムにより発生していたと思われる[実行]ボタンをクリックしても作図されない不具合を修正しました。

ビューポート環境設定

addCad 24 の[表示]タブ→[モデルビューポート]パネルの「ビューポート環境設定」ドロップダウン(単一、2分割、3分割、4分割など)のコマンドが正しく動作しない不具合を修正しました。

※ addCad 23 は不具合なし

ツールパレット ADDS ボルト

ボルト、ボルト+ナットにおいて、一部ボルトが斜めになっている不具合を修正しました。

解説:

%AppData%\AddSekkei\addCad 24 ¥R24.0¥jpn¥Support¥ToolPalette¥ToolPalette_Adds
¥SYMBOLS¥Bolt2022.dwg ファイルを修正しました。

| ブロック名 | 可視名 |
|---------|-----|
| B_S5 | M10 |
| 1N2W_S5 | M22 |
| 1N2W_M5 | M10 |
| 2N2W_S5 | M10 |